

第4回 野洲駅周辺地区整備検討委員会 ～議事概要～

日時：平成23年10月6日（木）10：00～12：00

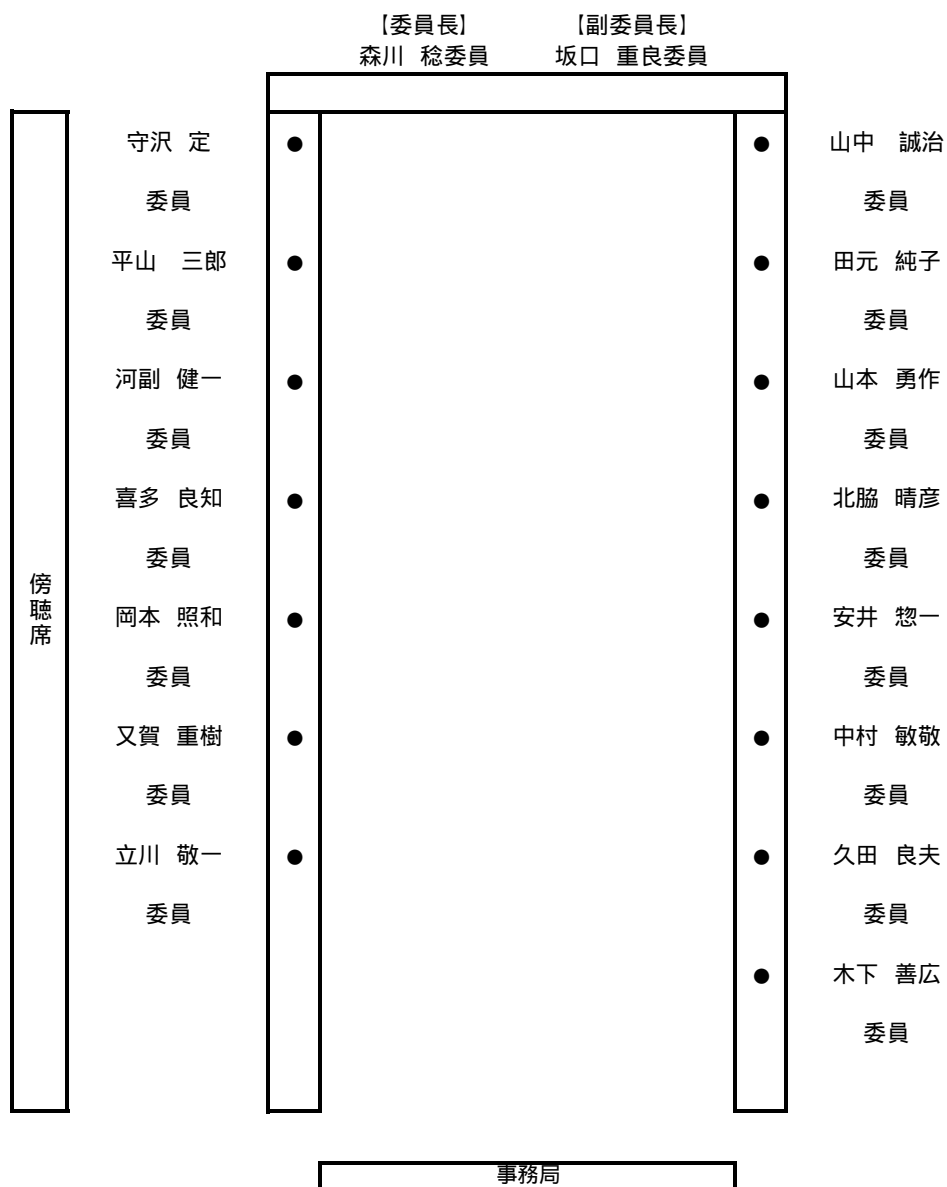
場所：野洲市市民活動支援センター ホール

■議事次第

1.開会	
2.あいさつ	
3.議事	
3-1.野洲駅南口駅前広場整備について	1) 意見の整理と対応 2) 修景の考え方
3-2.野洲駅北口駅前広場整備について	1) 整備スケジュール 2) 交通量調査計画 3) 駅前広場の現状
4.その他	
5.閉会	

■参加者

	氏 名	所 属 等	備 考
委員	森川 稔	滋賀県立大学特任准教授	(委員長)
	坂口 重良	野洲市観光物産協会	(副委員長)
	山中 誠治	野洲学区自治連合会	
	守沢 定	北野学区自治連合会	
	大堀 義治	駅前自治会	欠席
	平山 三郎	駅前北自治会	服部氏代理出席
	山本 勇作	野洲市老人クラブ連合会	
	河副 健一	野洲市障害者関係団体連絡協議会	
	田元 純子	野洲市女性団体連絡協議会	
	梅景 俊之	野洲市商工会	欠席
	喜多 良知	迷惑二輪・四輪をなくそう推進委員会	
	北脇 晴彦	一般社団法人 野洲市給与所得者の会	
	岡本 照和	守山警察署交通課	
	安井 惣一	滋賀県南部土木事務所道路計画課	
	又賀 重樹	西日本旅客鉄道株式会社	長谷川氏代理出席
	立川 敬一	近江鉄道株式会社	
	大槻 宜司	滋賀バス株式会社	欠席
	中村 敏敬	光タクシー株式会社	
	久田 良夫	近江タクシー株式会社	
	木下 善広	野洲小学校	
事務局	野洲市都市建設部都市計画課		
	株式会社エイト日本技術開発		



図．第3回野洲駅周辺地区整備検討委員会 座席表



図．委員会風景写真

■ 議事概要

委員による意見交換（意見の整理と対応）	
・ 自転車に乗っている人に対する注意喚起として、事前に看板を設置すると思うが、駅前周辺のどこくらいまでの範囲の方々に知らせるか、また、幼稚園や野洲小学校などを含め、近隣に住む市民の方々にチラシ等を入れて周知してほしい。最低限、野洲市内の人々には、広報等で案内文を入れていただけるとありがたい。	（委員）
・ 事前のチラシ、広報等については周知する方法を検討していきたい。	（事務局）
・ 前は自転車を押して歩くという指示をされてはどうかということだったが、今回は、自転車の方は歩行者に注意して下さいという控えた表現になっているが、これでよいか。また、サインを設置する場所について、どのくらいの大きさのものをこういった形で設置するのか。	（委員長）
・ サインについては修景の段階で、その他の施設と合わせて報告をさせていただきたい。全幅 3.5m の歩道の中で設置するならば、車道側の地上機器を設置する 50cm スペースで機器のない場所にサインの設置を考えている。	（事務局）
・ 混雑の時間帯に、子供を乗せた自転車が事故を起こした時はどこの責任になるのか。そういう観点で検討していただければ、別の予防策が出てくるのではないと思う。	（委員）
・ 最近、歩道を通行中の自転車と歩行者の事故が非常に増えており、特に駅舎側では人が輻輳する場所になると考えられるので、自転車は押して歩くことが好ましいと思う。どこの責任かということでは、自転車は軽車両なので、自転車を運転中に歩行者と事故になると、自転車を運転している人の責任が大きくなる。車両として走らせている時は十分に注意をしなければならないことから、特に駅舎辺りでは自転車は押して歩いてくださいという注意喚起は大事だと思う。	（委員）
・ 基本的には野洲市民のマナーの問題かと思うが、現実的には自転車に乗っている方が多いので、注意喚起の表示内容として事務局案でよいか。	（委員長）
・ 広場は 3 つの法律で規制されているので、それらとの関連性で何かいい方法がないか、法律で規制することがいいことかはわからないが、事務局で対応を検討してほしい。	（委員）
・ JR との協定などを考慮して考えていかなければならない。	（委員）
・ 安心安全の面から自転車は押して歩くという内容の看板にしてほしい。	（委員）
・ 事故が起こらないような手法を検討し、次回までに報告させていただきたい。	（事務局）
・ 障がい者用乗降スペースについては、サインのみの表示にしたいという対応案について、これでよいか。	（委員長）

（次項へ続く）

委員による意見交換（意見の整理と対応）	
・サインのみの表示で問題ない。小ロータリーで車いす用以外のところで乗降する場合、歩道との段差が問題になるが、小ロータリーの奥にスペースを設けていただくので十分である。ただし、一般車両が駐車していることが見受けられるので、サインやチラシ等でマナーの向上を啓発するような検討をしていただきたい。	（委員）
・サインのみということで了解いただけた。 ・緑化についてはいかがでしょうか。	（委員長）
・委員だけで決めるのではなく、環境課の緑地のプロジェクトチームとも話し合っていたきたい。	（委員）
・次回、提示する。	（事務局）
・維持管理はどうするのか。日常的に散水などはしなくてもよいのか。	（委員長）
・現在、市で駅前の維持管理について清掃等を行っているので、その中でやっていくことも考えられるし、他のところでは、散水をしなくても大丈夫という事例もあるようで、今後、地元も含め検討していきたいと考えている。 ・現在、北口は安定して緑化の維持管理が行き届いているが、整備の段階では、半年くらいは、気候にもより、散水が必要なので、維持管理には万全を尽くしていきたいと思う。ハード面と併せて、ソフト面も含め考えていきたい。	（事務局）
・停車中にエンジンをかけっぱなしにすることが問題になるということだが、周辺の環境問題にもつながることなので、公共の広場全体にアイドリングストップという考えを持ち込んで、少しでも環境のよい野洲市の玄関口にすべきではないかと思う。	（委員）
・タクシープールでは、タクシーの多くがエンジンをかけたままであるということについて、ご意見があればお願いしたい。	（委員長）
・夏場や冬場はエアコンを入れておかないと、お客様から苦情が入ってくることもあるので、努力はするが、難しい面もある。	（委員）
・事情はよくわかっているので、できる範囲で、努力いただければと思う。 ・モニュメントについて、駅前広場に関してはシンボルツリーとして高木を植樹するという対応案が示されているが、いかがでしょうか。	（委員長）
・駅前には時計がほしい。どの位置から見ても見える時計がほしいと思う。	（委員）
・見やすい場所等を含め、設置に向けて検討する。	（事務局）

（次項へ続く）

委員による意見交換（南口について 修景の考え方）	
・国道 8 号から駅前までの連続性が大切で、ダークブラウンがよいと思う。また、大塚製薬の工場は緑地がなかったので、建物をグリーンにしているが、植木のみでグリーンにするのではなく、トータルでグリーン化にするのはどうか。三点目として、修景計画の条例がいつできるのか、それまでは規制がかからず自由になるので、その期間に制約をかけられるのかどうか。	（委員）
・景観の基本方針を定めているので、今後、条例や景観計画について委員会のほうで検討し、条例は 3 月議会で提案すべく進めている。計画については 9 月ごろになる。条例の施行については、部分施行ということで、9 月以降になる。景観計画の中で、駅前を重点地区とするのか等、議論していく予定。看板全体については、屋外広告物の関係で、指導等を行っている。	（事務局）
・今後、規制がなければさまざまな色の看板が出てくると思うが、いつまで我慢すれば、それができなくなるのか。	（委員）
・景観計画を定める中で、重点地区を決めていくので、その際に、駅前の部分を重点地区にするか否かは地元の方々との合意形成が必要であり、どの部分を重点地区にしていくのかにより、条例や景観計画の中での制限ができてくると考えている。	（事務局）
・小ロータリーの路面の色は変えられないのか。	（委員）
・小ロータリーの色を変えているのは、主な利用はタクシーであり、また歩行者と車両が交差する部分になるので、一般車両が入りにくくするためである。ただし、色自体はサンプルの色で確定した色ではない。	（事務局）
・色彩については、感覚的なところもあるので、ご意見をいただければ。	（委員長）
・シェルターが白色になるのは、落ち着いたイメージからは外れるのではないかと思う。個人的見解からは、白色は避けていきたいと考える。	（事務局）
・歩道の舗装材はタイルになるのか。	（副委員長）
・今の段階では、決定していない。	（事務局）
・周辺の各駅の歩道はすべてブラウン系の色になっているが、南草津駅はオレンジとラインが入っている。滋賀銀行から駅前ロータリーは自転車を押して歩くことを促すために他と色を変えることで識別するのもよいのではないか。タイプ のライトグレーは白すぎる、タイプ はよいが、タイプ はよく見かける色なので、野洲は少し違う色にしたいという点、自転車も識別できるという点、点字が目立つという点でもダークグリーンもしくはグリーンもよいのではないか。歩道がグリーンならば、シェルターは白色でよいのではないか。小ロータリーをグリーンにすることも可能ではないかと思う。	（副委員長）

（次項へ続く）

委員による意見交換（南口について 修景の考え方）	
・歩道舗装の色について、障がい者ブロックの視認性という点からも見分けがつきにくいということもあって、ライトグレーは賛同の意見がなかったのではないかなと思う。ブラウン系とグリーン系がよいと言う意見があったかなと思う。ブラックについて何か意見はあるか。ライトグレーは都会的なイメージで、ビジネス街のような機能的な都市でよく使われていると思うので、落ち着きからは離れる色ではないかなと思う。 ・シェルターの色はどうか。柱の色まで白色にすると主張しすぎるように思える。守山の市役所側にシェルターがあるが、桁などは白色にしているが、柱はライト系の茶色にしている。桁や棧の部分は汚れが目立つので、支柱等の色を考えながらテントの色も考えないといけないと思う。白色はコストやその他の点を含めてどのようなメリットがあるのか説明していただきたい。	（委員長）
・白色以外は特注ということになるのでコストがかかる。併せて、色をつけることで、下を歩いたときの明るさを確保できない。また、既存のブラウン系シェルターを残して追加で設置するのか、すべて新設するのも検討しなくてはならない。	（事務局）
・シェルターは分離して設置する計画なのか。設置するのならば連続したものにしたい。また、色の選定と併せて、断熱効果についても教えていただきたい。その他の施設との関係も考えて、バスの昇降場だけは色のコントラストをきつくつけた方がいいのではないかな。シェルターの色は統一したほうがよいと思う。	（委員）
・車道と歩道では高さが異なり、段違いになって隙間ができるので、連続するような設計を検討していく。既存シェルターの利用については、コストの面も含め検討していく。	（事務局）
・バス停にはひさしがあるが、タクシー乗降場、障がい者用スペースにはひさしがないのはなぜか。タクシー乗降場の歩道との段差はどうなっているか。	（委員）
・タクシー乗降場および一般乗降場のひさしの設置については、検討を進めている。建築限界による高さを検討する必要がある、その高さで効果があれば設置する考えでいる。段差については、バス停と同様にタクシー乗降場、障がい者用スペースについても歩道の高さを車道より 15cm 高くして乗降がスムーズにできるようにする。	（事務局）
・既存シェルターはどこを残す予定なのか。	（委員長）
・決定した色合い、材質で積算した上で、次回に提示させていただきたい。舗装材については、色によって材質が決まるので、色が決まらなないと設計に移りにくいが、シェルターについては色に関係なく設計を進める。	（事務局）
・ダークグリーンはタイルがないかもしれないということだったが。	（副委員長）
・グリーンは退色しやすい色で、はじめはきれいでもだんだん薄い色になる。また芝生の色も目立たなくなるので、やめてほしい。	（委員）

（次項へ続く）

委員による意見交換（南口について 修景の考え方）	
・タイルとアスファルトではどうか。	（副委員長）
・キャリーバックを杖代わりにしている高齢者もいて、歩道の材質によっては突っかかるので、シンプルですっきりしたものにしていただきたい。京都の市立美術館の前の舗装が一番きれい。	（委員）
・キャリーバックやスーツケースなどを考えるとフラットなアスファルト舗装のほうがよいと思う。色に関してはグリーンもよいかと思う。	（副委員長）
・実施設計になると材が重要になる。次回、サンプルを示しながら説明したい。	（事務局）
・安全性から、フラットなアスファルトの方がいいのではないかと思う。	（委員）
・タイルまたは舗装で、色も含め２通りで検討していく。シェルターについては、膜タイプでよいか。	（事務局）
・膜タイプで了承いただいた。支柱と車止めの色のバランスや、支柱が多くなるので、支柱に車止めの機能を持たせるなど、全体をデザイン的に検討いただければと思う。	（委員長）

委員による意見交換（北口について）	
・交通量の調査で２日間となっているが、雨天の日はやらないのか。	（委員）
・平日の雨天の日に実施予定である。	（事務局）
・意見記入についてもう一度説明してほしい。	（委員長）
・10月19日を目安に記入していただいて、提出してほしい。	（事務局）

■今後の予定

・南口駅前広場については、色合い、素材について２通りについて設計案を用意し、次回報告する。
・北口駅前広場については、調査結果に基づいて計画案を用意し、また委員からの意見を検討し次回提案する。
・次回委員会の開催予定は12月初旬頃として、日程調整する。